

『伝統的構法のための木造耐震設計法』第2版 正誤表

本書第2版において下記のとおり誤りがございました。

深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。

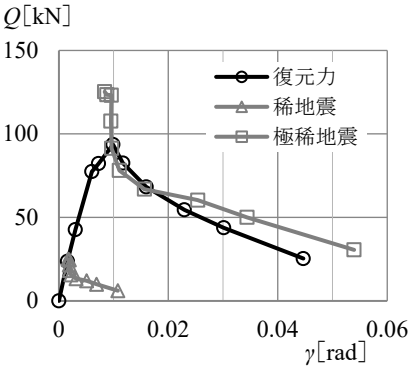
なお現在、本書は第3版を発行しており、下記の内容は修正いたしております。

2025年6月17日 学芸出版社

章	頁	行	誤	正
はじめに	2	上9	法改正に伴い、「4号建築物相当」修正	旧4号建築物相当
はじめに	2	上10	法改正に伴い、「置かれることとなった。」の後に追加	(2025年4月1日施行の建築基準法改正では、小規模な伝統的木造建築物等について、構造設計一級建築士が設計又は確認を行い、専門的知識を有する建築主事等が建築確認審査を行う場合は、構造計算適合性判定が不要となった)。
1章	15	最初の行	加速度応答スペクトルの次に追加	必要性能スペクトル：等価な1質点系モデルに作用する地震力と変形を表す。稀に発生する地震動、極めて稀に発生する地震動などに対応して等価周期と等価減衰から決まる加速度応答スペクトルをせん断力と変形の関係に変換したスペクトル（例えば図5.14中の破線）と原点から等価剛性（周期）の傾きを持つ直線との交点が求まる。変位の増分に対応して等価減衰を変化させて両者の交点を結んで描いた線（図5.14中の太い実線）が必要性能スペクトルとなる。この必要性能スペクトルと建築物の等価復元力の交点が真の応答値となる。
1章	16	上7	と記している箇所	と記している箇所
1章	17	上7	Rc_0	Rco
3章	38	下6	加速度応答スペクトルを算定する。	加速度応答スペクトル (S_{Ad} , S_{As}) を算定する。
5章	68		(5.9)式左辺の h	h_{eq}
5章	71	上3から8	「各ステップ...になる。こうして、」を変更	本マニュアルの近似応答計算では、変位（変形角 γ ）を増分させてステップごとに仮の応答値（変形、せん断力）(γ_n , Q_n) を計算する。各ステップでの建築物の等価減衰に対応した加速度応答スペクトルをせん断力と変形の関係に変換したスペクトル（図5.14中の破線）と等価剛性の傾きを持つ直線との交点が各ステップでの仮の応答値となる。各ステップごとの仮の応答値を結んだ線（図5.14中の太い実線）を必要性能スペクトルと呼ぶ。この必要性能スペクトルと建築物の等価復元力の交点が真の応答値 (γ_R , Q_R) となる。実際の計算では、

5 章	75	下 2	$\gamma_2 = \delta_2 / H_2$	$\gamma_2 = (\delta_2 - \delta_1) / H_2$
7 章	92	下 3	断面係数計算軸に対して対称近似している。	断面係数計算軸（断面を 2 等分する位置に仮定）に対して対称近似している。
7 章	108	最下行	追記	特に、下屋がある場合には隅角部、外周部の柱脚については注意を要する。
7 章	109	上 15	④礎石に関する留意点の前に追加	柱脚に作用する水平力の割増係数 k は、平成 24 年度に検討委員会において実施した E ディフュェンス震動台実験で伝統構法石場建て部分 2 階建て下屋付き試験体（試験体 No.5（地長押なし））による実験を詳細に検討した結果から、曲げ剛性に応じて割り振った曲げモーメントの対応関係による割増係数を提案した。同時に行った実験（試験体 No.6（地長押あり））から、②柱脚の移動に伴う留意点でも記したように外周部や主要な通りなどの柱脚部に地長押などを設けることは、柱脚の折損に対して有効であることがわかった。
9 章	9.2 節は別途			
設計資料 2	254	図 2.3	(c) 縮約モデル応答結果	正誤表 3 頁目上段の図に差し替え
設計資料 2	255	表 2.2	エクセルシートに誤り	正誤表 4 頁目の表に差し替え
設計資料 2	265	下 2	(2.37) 式	(2.38) 式
設計資料 3	282	上 1	(壁剛性 (鉛直構面剛性) s に対する床剛性 k の比)	(壁剛性 (鉛直構面剛性) k に対する床剛性 s の比)
設計資料 4	292	上 22	$\times 180\text{mm}$	$\times 18\text{mm}$
設計資料 4	305	下 6 下 7	τ_S / τ_B	τ_B / τ_S
設計資料 4	305	式 4.31	$3.25\tau_S$ (2 カ所)	$3.25\tau_B$
設計資料 4	306	式 4.32	τ_B	τ_S
設計資料 4	314	上 4	鼻栓打・ち込み栓打ち割り楔締め	鼻栓打ち・込み栓打ち・割り楔締め
設計資料 4	328	上 6	実験によるとでは、	実験によると、
設計資料 4	332	表 4.14	束 $45 \times 60\text{mm}$ の値	正誤表 3 頁目中段の表に差し替え
設計資料 4	333	図 4.52		正誤表 3 頁目下段の図に差し替え
設計資料 4	337	上 7	「あり、…見直しがありうる。」を変更	ある。束の突出による耐力増大は実験的に認められるものの、ばらつきもあり、まだ定量的に十分に検証できていないので、増大率を設計に組みこむことは難しい。今後、束突出の増大効果などは部材の降伏・破壊などの性状を含め、より多くの実験による検証とともに理論解析的な検証も行う必要がある。
おわりに	348	下 6	法改正に伴い、「4 号相当の建築物を構造計算適合性判定の対象から除外するとともに」を変更	旧 4 号建築物相当の小規模な伝統的木造建築物等について、構造計算適合性判定の対象外となる規定が制定されたが、対象外となる要件が厳しいので、要件が整う環境の整備や要件の見直しとともに

■254 頁、図 2.3(c) 差し替え



(c) 縮約モデル応答

■332 頁、表 4.14 差し替え

表 4.14 特定回転角時の曲げモーメント M (仕口 1 カ所あたりの復元力モーメント) [kN・m]

回転角	[rad]	1/480	1/240	1/120	1/90	1/60	1/45	1/30	1/20	1/15	1/10
	$[\times 10^{-3} \text{ rad}]$	2.08	4.17	8.33	11.11	16.67	22.22	33.33	50.00	66.67	100.00
束45×45mm		0.04	0.09	0.19	0.25	0.38	0.51	0.69	0.83	0.94	1.13
束45×60mm		0.06	0.12	0.23	0.31	0.47	0.63	0.86	1.03	1.15	1.36
束60×60mm		0.07	0.14	0.28	0.37	0.56	0.74	1.13	1.49	1.71	2.06
束60×75mm		0.09	0.17	0.34	0.46	0.69	0.91	1.36	1.72	1.96	2.35
束60×90mm		0.10	0.19	0.38	0.51	0.77	1.04	1.47	1.85	2.10	2.54
束75×120mm		0.27	0.54	1.08	1.46	2.05	2.36	2.78	3.25	3.63	4.31
束90×150mm		0.47	0.94	1.87	2.63	3.66	4.24	4.98	5.78	6.47	7.67

■333 頁、図 4.52 差し替え

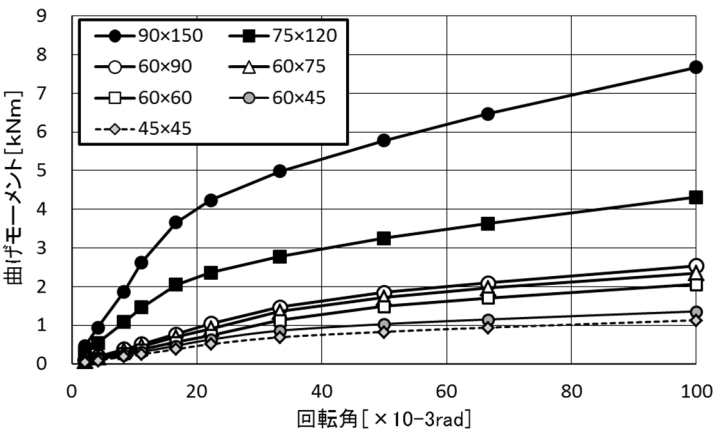


図 4.52 はしご型フレームの復元力特性 (仕口 1 カ所あたりの復元力モーメント)

表 2.2 2 階先行降伏：収斂計算法 2（2 階基準ステップ）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
1	収斂計算法 2				2 階基準									
2														
3	建物諸元	重量 W	質量 m	階高 H	$Q_{1/30}$	C_i	R_W	0.750						
4	階	kN	t	m	kN	-	R_H	0.800						
5	2F	60	6.1	2.4	57.8	0.964	R_{CO}	1.340						
6	1F	80	8.2	3	144.6	1.033	C_2/C_b	0.933						
7	合計	140	14.3	5.40				降伏階	2 階×					
8														
9	復元力			1/480	1/240	1/120	1/90	1/60	1/45	1/30	1/20	1/15	1/10	
10	γ	rad	0	0.0021	0.0042	0.0083	0.0111	0.0167	0.0222	0.0333	0.0500	0.0667	0.1000	
11	Q_2	kN	0	14.9	27.3	49.6	55.1	66.1	63.3	57.8	49.6	41.3	24.8	
12	Q_1	kN	0	37.2	68.1	123.9	137.7	165.2	158.3	144.6	123.9	103.3	62.0	
13	K_{c2}	kN/m		2,974	2,726	2,478	2,065	1,652	1,187	723	413	258	103	
14	K_{c1}	kN/m		5,947	5,452	4,956	4,130	3,304	2,375	1,446	826	516	207	
15	$\Delta Q_1/\Delta \gamma_1$			17,842	14,868	13,381	4,956	4,956	-1,239	-1,239	-1,239	-1,239	-1,239	
16	ω^2	1/s ²		270.5	248.0	225.4	187.9	150.3	108.0	65.8	37.6	23.5	9.4	
17	u_2/u_1			2.257	2.257	2.257	2.257	2.257	2.257	2.257	2.257	2.257	2.257	
18														
19	1 質点系への縮約			1/480	1/240	1/120	1/90	1/60	1/45	1/30	1/20	1/15	1/10	
20	2 階刻 $\delta_2-\delta_1$	m		0.005	0.010	0.020	0.027	0.040	0.053	0.080	0.120	0.160	0.240	
21	繰り返し計算開始 初期値は $\delta_1=(\delta_2-\delta_1)/(u_2/u_1-1)$													
22	δ_1 初期値	m		0.004	0.008	0.016	0.021	0.032	0.042	0.064	0.095	0.127	0.191	
23	δ_1	m	インプット	0.004	0.007	0.015	0.016	0.018	0.016	0.013	0.010	0.008	0.004	
24	δ_2	m		0.009	0.017	0.035	0.042	0.058	0.069	0.093	0.130	0.168	0.244	
25	δ_1/H_1			0.0013	0.0025	0.0049	0.0052	0.0061	0.0053	0.0042	0.0033	0.0026	0.0014	
26	$K_{c2}^*=K_{c2}$	kN/m		2,974	2,726	2,478	2,065	1,652	1,187	723	413	258	103	
27	K_{c1}^* 内挿	kN/m		5,947	5,798	5,310	5,251	5,140	5,246	5,439	5,586	5,762	5,947	
28	ω^2^*	1/s ²		270.5	256.5	234.1	212.5	185.4	149.7	102.0	62.4	40.2	16.6	
29	u_2/u_1^*			2.257	2.359	2.372	2.703	3.195	4.389	7.373	13.291	22.050	57.290	
30	δ_1^*	m	アウトプット	0.004	0.007	0.015	0.016	0.018	0.016	0.013	0.010	0.008	0.004	
31	繰り返し計算終了													
32	階別の減衰	1 階 h		0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	
33	戻り 1/120	2 階 h		0.050	0.050	0.050	0.077	0.103	0.133	0.163	0.183	0.193	0.203	
34	重みづけ h			0.050	0.050	0.050	0.064	0.081	0.109	0.145	0.172	0.186	0.200	
35	M_u	t		12.3	12.1	12.1	11.5	10.9	9.7	8.3	7.4	6.9	6.4	
36	Δ	m		0.007	0.014	0.027	0.034	0.046	0.057	0.080	0.119	0.158	0.239	
37	$M_u/\Sigma m$			0.86	0.85	0.85	0.81	0.76	0.68	0.58	0.52	0.48	0.45	
38	Q_e	kN	0	23.7	42.7	77.4	82.2	93.7	82.6	68.3	54.5	43.8	25.4	
39	K_c	kN/m		3,322	3,103	2,827	2,453	2,016	1,457	850	459	276	106	
40	T_e	sec		0.38	0.39	0.41	0.43	0.46	0.51	0.62	0.80	0.99	1.54	
41	ΔW 参考			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.11	4.22	9.29	12.59	13.44	
42	W 参考			0.08	0.29	1.06	1.38	2.18	2.34	2.74	3.24	3.47	3.03	
43	縮約 h 参考			0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.054	0.173	0.278	0.339	0.403	
44	F_h			1.00	1.00	1.00	0.91	0.82	0.71	0.61	0.55	0.52	0.50	
45	H_e	m		4.51	4.53	4.54	4.61	4.69	4.84	5.03	5.18	5.26	5.35	
46	γ_e	rad	0	0.0016	0.0030	0.0060	0.0073	0.0099	0.0117	0.0160	0.0229	0.0301	0.0447	
47				1/633	1/330	1/166	1/137	1/101	1/85	1/63	1/44	1/33	1/22	
48	$Q_e-\gamma_e$ 勾配	kN/rad		14,977	13,082	11,570	3,881	4,356	-6,133	-3,351	-1,972	-1,496	-1,267	
49	2 階建て p			0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	
50	q			1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.10	1.28	1.45	1.56	1.67	
51	地盤 G_s			1.500	1.500	1.500	1.500	1.500	1.500	1.500	1.685	2.025	2.025	
52														
53	稀地震			1/480	1/240	1/120	1/90	1/60	1/45	1/30	1/20	1/15	1/10	
54	S_0	m/s ²		1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60	1.42	1.18	0.78	
55	S_A	m/s ²		2.04	2.04	2.04	1.87	1.69	1.62	1.63	1.68	1.71	1.16	
56	$S_D=A_e$	m		0.008	0.008	0.009	0.009	0.009	0.011	0.016	0.026	0.036	0.058	
57	Q_n	kN	0	25.0	24.7	24.6	21.5	18.3	15.6	13.4	12.1	10.0	6.1	
58	γ_n	rad	0	0.0017	0.0018	0.0019	0.0019	0.0019	0.0022	0.0031	0.0051	0.0069	0.0108	
59				1/598	1/570	1/520	1/525	1/518	1/451	1/320	1/197	1/145	1/93	
60	$Q_n-\gamma_n$ 勾配	kN/rad		14,977	-4,416	-269	187,106	-124,171	-9,310	-2,459	-673	-1,143	-994	
61	交差判定			0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
62			0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
63	δ_{R2}	m		0.010	0.010	0.011	0.011	0.011	0.013	0.018	0.029	0.038	0.059	
64	δ_{R1}	m		0.004	0.004	0.005	0.004	0.004	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	
65	γ_{R2}	rad	0	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003	0.004	0.007	0.011	0.015	0.024	
66				1/453	1/415	1/377	1/344	1/308	1/238	1/153	1/90	1/66	1/41	
67	γ_{R1}	rad	0	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	
68				1/712	1/705	1/647	1/732	1/844	1/1007	1/1220	1/1389	1/1728	1/2915	
69														
70	極稀地震			1/480	1/240	1/120	1/90	1/60	1/45	1/30	1/20	1/15	1/10	
71	S_0	m/s ²		8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	6.43	5.17	3.32	
72	S_A	m/s ²		10.20	10.20	10.20	9.32	8.40	8.02	8.01	8.19	7.28	4.78	
73	$S_D=A_e$	m		0.038	0.040	0.044	0.044	0.045	0.054	0.079	0.131	0.181	0.288	
74	Q_n	kN	0	125.2	123.4	123.2	107.6	91.3	78.1	66.9	60.3	50.0	30.6	
75	γ_n	rad	0	0.0084	0.0088	0.0096	0.0095	0.0097	0.0111	0.0156	0.0254	0.0344	0.0539	
76				1/120	1/114	1/104	1/105	1/104	1/90	1/64	1/39	1/29	1/19	
77	$Q_n-\gamma_n$ 勾配	kN/rad		14,977	-4,416	-269	187,106	-124,171	-9,310	-2,459	-673	-1,143	-994	
78	交差判定			0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
79			0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
80	δ_{R2}	m		0.048	0.050	0.055	0.055	0.057	0.065	0.091	0.144	0.191	0.295	
81	δ_{R1}	m		0.021	0.021	0.023	0.020	0.018	0.015	0.012	0.011	0.009	0.005	
82	γ_{R2}	rad	0	0.011	0.012	0.013	0.015	0.016	0.021	0.033	0.055	0.076	0.121	
83				1/91	1/83	1/75	1/69	1/62	1/48	1/31	1/18	1/13	1/8	
84	γ_{R1}	rad	0	0.007	0.007	0.008	0.007	0.006	0.005	0.004	0.004	0.003	0.002	
85				1/142	1/141	1/129	1/146	1/169	1/201	1/244	1/278	1/346	1/583	